



Dell Latitude 5511

セットアップと仕様ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Latitude 5511 のセットアップ	5
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
章 3: シャーシの概要	8
ディスプレイ ビュー.....	8
左面図.....	8
右面図.....	8
底面図.....	8
パームレストの図.....	8
章 4: 技術仕様	9
プロセッサ.....	9
チップ セット.....	10
オペレーティング システム.....	10
メモリ.....	10
システム ボードのコネクター.....	11
ストレージ.....	11
メディアカードリーダー.....	11
オーディオ.....	11
ビデオ.....	12
カメラ.....	12
通信.....	13
モバイル ブロードバンド.....	13
電源アダプタ.....	14
バッテリー.....	14
寸法と重量.....	16
ポートとコネクター.....	16
タッチパッド.....	17
ディスプレイ.....	18
キーボード.....	19
電源ボタンの指紋認証リーダー.....	19
指紋認証リーダー.....	19
センサーおよびコントロールの仕様.....	19
セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー.....	20
セキュリティ オプション—非接触型スマート カード リーダー.....	20
セキュリティ.....	22
セキュリティ ソフトウェア.....	22
コンピュータ環境.....	22
章 5: キーボードのショートカット	24
章 6: ソフトウェア	26
Windows ドライバのダウンロード.....	26

章 7: セットアップユーティリティ	27
ブートメニュー.....	27
ナビゲーションキー.....	27
ブート シーケンス.....	28
セットアップユーティリティのオプション.....	28
一般オプション.....	28
システム情報.....	29
ビデオ.....	31
セキュリティ.....	31
Secure Boot (安全起動).....	32
インテルソフトウェア ガード エクステンションズ.....	33
パフォーマンス.....	33
電力管理.....	34
POST 動作.....	35
管理機能.....	35
Virtualization Support (仮想化サポート).....	36
ワイヤレス.....	36
メンテナンス画面.....	36
システムログ.....	37
Windows での BIOS のアップデート.....	37
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	37
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	38
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	38
システム セットアップパスワードの割り当て.....	39
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	39
章 8: ヘルプ	40
デルへのお問い合わせ.....	40

Latitude 5511 のセットアップ

このタスクについて

メモ: 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いのコンピュータと異なる場合があります。

手順

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。



メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。電源アダプタを接続し、電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。

2. Windows のセットアップを終了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
- **メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける


リソースを見つける	説明
	マイデルダウンロード 主な Dell アプリケーション、ヘルプ記事、お使いのコンピュータに関するその他の重要な情報を一元的に表示します。また、保証のステータス、推奨されるアクセサリ、およびソフトウェアアップデート (使用可能な場合) についても通知します。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

リソースを見つける	説明
	<p>SupportAssist</p> <p>コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。SupportAssist OS リカバリツールが、オペレーティングシステムの問題をトラブルシューティングします。詳細については、www.dell.com/support で SupportAssist マニュアルを参照してください。</p> <p>メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell アップデート</p> <p>重要な修正プログラムおよび最新のデバイスドライバが提供された場合に、お使いのコンピュータを更新します。Dell Update の使用の詳細については、www.dell.com/support のナレッジベース記事 (SLN305843) を参照してください。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアアプリケーションを、お使いのコンピュータにダウンロードします。Dell Digital Delivery の使用の詳細については、www.dell.com/support のナレッジベース記事 (153764) を参照してください。</p>

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

メモ: Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

前提条件

- メモ:** このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。
- メモ:** 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

手順

- お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
- Windows 検索に **回復** と入力します。
- 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
- [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
- [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
- [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
- [**作成**] をクリックします。
- [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

シャーシの概要

トピック：

- [ディスプレイビュー](#)
- [左面図](#)
- [右面図](#)
- [底面図](#)
- [パームレストの図](#)

ディスプレイビュー

1. マイクロフォン
2. カメラ用シャッター
3. IR カメラ (オプション)
4. カメラ
5. カメラステータスライト
6. マイクロフォン
7. LCD パネル
8. LED アクティビティ ライト

左面図

1. 電源コネクタ ポート
2. USB Type-C 3.2 Gen 2 ポート (DisplayPort 1.4 ポート/Power Delivery/Thunderbolt を搭載)
3. USB 3.2 Gen 1 ポート
4. ファン通気孔
5. スマートカードリーダー (オプション)

右面図

1. microSD カードリーダー
2. micro-SIM カードスロット
3. ヘッドセット/マイクroフォン ポート
4. USB 3.2 Gen 1 ポート
5. PowerShare 機能付き USB 3.2 ポート
6. HDMI ポート
7. ネットワーク ポート
8. くさび形ロックスロット

底面図

1. ファン通気孔
2. サービス タグ ラベル
3. スピーカー

パームレストの図

1. オプションの指紋認証リーダー (FPR) 内蔵電源ボタン
2. キーボード
3. NFC/非接触型スマートカードリーダー (オプション)
4. タッチパッド
5. ポイントスティック

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- プロセッサ
- チップ セット
- オペレーティング システム
- メモリ
- システム ボードのコネクタ
- ストレージ
- メディアカードリーダー
- オーディオ
- ビデオ
- カメラ
- 通信
- モバイルブロードバンド
- 電源アダプタ
- バッテリー
- 寸法と重量
- ポートとコネクタ
- タッチパッド
- ディスプレイ
- キーボード
- 電源ボタンの指紋認証リーダー
- 指紋認証リーダー
- センサーおよびコントロールの仕様
- セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー
- セキュリティ オプション—非接触型スマート カード リーダー
- セキュリティ
- セキュリティ ソフトウェア
- コンピュータ環境

プロセッサ

表 2. プロセッサ

説明	値		
	第 10 世代インテル Core i5-10300H	第 10 世代インテル Core i5-10400H	第 10 世代インテル Core i7-10850H
プロセッサ	第 10 世代インテル Core i5-10300H	第 10 世代インテル Core i5-10400H	第 10 世代インテル Core i7-10850H
ワット数	35 W	35 W	35 W
コア数	4	4	6
スレッド数	8	8	12
スピード	最大 4.5 GHz	最大 4.6 GHz	最大 5.1 GHz

表 2. プロセッサ (続き)

説明	値		
キャッシュ	8 MB	8 MB	12 MB
内蔵グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス

チップセット

表 3. チップセット

説明	値
チップセット	インテル WM490
プロセッサ	第 10 世代インテル Core i5/i7
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen 3.0 まで

オペレーティングシステム

- Windows 10 Home (64 ビット)
- Windows 10 Professional (64 ビット)
- Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット)

メモリ

表 4. メモリの仕様

説明	値
スロット	2 x SODIMM スロット
タイプ	デュアルチャンネル DDR4
速度	2933 MHz
最大メモリ	64 GB
最小メモリ	4 GB
サポートされている構成	<ul style="list-style-type: none"> • 4 GB DDR4、2933 MHz (1 x 4 GB) • 8 GB DDR4、2933 MHz (2 x 4 GB) • 8 GB DDR4、2933 MHz (1 x 8 GB) • 16 GB DDR4、2933 MHz (2 x 8 GB) • 16 GB DDR4、2933 MHz (1 x 16 GB) • 32 GB DDR4、2933 MHz (2 x 16 GB) • 32 GB DDR4、2933 MHz (1 x 32 GB) • 64 GB DDR4、2933 MHz (2 x 32 GB)

システムボードのコネクター

表 5. システムボードのコネクター

特長	仕様
M.2 コネクター	<ul style="list-style-type: none">1 x M.2 2230 Key-E コネクター1 x M.2 2280 Key-M コネクター1 x M.2 3042 Key-B コネクター

ストレージ

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- 1 x 2.5 インチ ハード ドライブ
- M.2 2230/2280 ソリッドステート ドライブ x1

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。PC に

- M.2 ドライブが搭載されている場合、M.2 ドライブがプライマリー ドライブです。
- M.2 ドライブが搭載されていない場合、2.5 インチ ハード ドライブがプライマリー ドライブです。

表 6. ストレージの仕様

フォームファクター	インターフェイスのタイプ	容量
2.5 インチ 5400 rpm SATA ハードディスク ドライブ	SATA (最大 6 Gbps)	1TB
2.5 インチ 7200 rpm SATA ハードディスク ドライブ	SATA (最大 6 Gbps)	最大 1TB
M.2 2230 ソリッドステート ドライブ PCIe NVMe	PCIe Gen3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
M.2 2280 ソリッドステート ドライブ PCIe NVMe	PCIe Gen3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1TB

メディアカードリーダー

表 7. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	microSD カード スロット
サポートされるカード	<ul style="list-style-type: none">Micro Secure Digital (mSD)マイクロセキュア デジタル高容量 (mSDHC)Micro Secure Digital Extended Capacity (mSDXC)

オーディオ

表 8. オーディオの仕様

説明	値
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3204
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
内部インターフェース	インテル HDA (ハイデフィニション オーディオ)

表 8. オーディオの仕様 (続き)

説明	値
外部インターフェース	ユニバーサルオーディオジャック
スピーカー	2
スピーカー出力の平均値	2 W
スピーカー出力の最大値	2.5 W

ビデオ

表 9. 専用グラフィックスカードの仕様

専用グラフィックスカード			
コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリーサイズ	メモリのタイプ
NVIDIA GeForce MX250	NA	2 GB	GDDR5

表 10. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス			
コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリーサイズ	プロセッサー
インテル UHD グラフィックス	HDMI 2.0 ポート/USB Type-C (DisplayPort 1.4 ポート搭載)	共有システムメモリー	第 10 世代インテル Core i5/i7

カメラ

表 11. カメラの仕様

説明	値
カメラの数	1 回
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> RGB HD カメラ Hello IR Web カメラ
場所	前面カメラ
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー
解像度 :	
静止画像	5 メガピクセル
ビデオ	1280 x 720 (VGA/HD) (30 fps)
対角視野角	78.6 度

通信

イーサネット

表 12. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	インテル 1219-V/インテル 1219-LM Gb Ethernet コントローラー
転送レート	10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

表 13. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値		
Model number (モデル番号)	Qualcomm QCA61x4A (DW1820)	インテル AX201	インテル AX201
転送レート	最大 867 Mbps	最大 2400 Mbps	最大 2400 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz
ワイヤレス規格	<ul style="list-style-type: none">WiFi 802.11a/b/gWi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n)Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)	<ul style="list-style-type: none">Wi-Fi 802.11a/b/gWi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n)Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)Wi-Fi 6 (Wi-Fi 802.11ax)	<ul style="list-style-type: none">Wi-Fi 802.11a/b/gWi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n)Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)Wi-Fi 6 (Wi-Fi 802.11ax)
暗号化	<ul style="list-style-type: none">64 ビット/128 ビット WEPAES-CCMPTKIP	<ul style="list-style-type: none">64 ビット/128 ビット WEPAES-CCMPTKIP	<ul style="list-style-type: none">64 ビットおよび 128 ビット WEP128 ビット AES-CCMPTKIP
Bluetooth	Bluetooth 5.0	Bluetooth 5.1	無

モバイル ブロードバンド

表 14. インテル XMM 7360 Global LTE-Advanced

説明	値
Model number (モデル番号)	インテル XMM 7360 Global LTE-Advanced
SIM カード (Micro または Nano)	1,2 をサポート
eSIM カード (Micro または Nano)	1,2 をサポート

1. SIM カードの使用は、外部 SIM スロットを介してサポートされていますが、一部のモデルは Nano カードのみをサポートしていません。

2. eSIM 機能の可用性は、地域と配送先の要件によって異なります。

電源アダプタ

表 15. 電源アダプタの仕様

説明		Values		
タイプ	90 W	90 W Type-C	130 W Type-C	
直径 (コネクタ)	7.4 mm	Type-C コネクタ	Type-C コネクタ	
入力電圧	AC 100 ~ 240 V	AC 100 ~ 240 V	AC 100 ~ 240 V	
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz	
入力電流 (最大)	1.60 A	1.50 A	1.80 A	
出力電流 (連続)	4.62 A	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/4.5 A (連続) ● 15 V/3 A (連続) ● 9 V/3 A (連続) ● 5 V/3 A (連続) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/6.5 A (連続) ● 5.0 V/1 A (連続) 	
定格出力電圧	DC19.50 V	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC	DC 20 V/DC 5 V	
温度範囲:				
	動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 16. バッテリーの仕様

説明		値			
タイプ	3セル 51 Whr ExpressCharge™対応	4セル 68 Whr ExpressCharge™対応	4セル 68 Whr 長サイクル寿命	6セル 97 Whr ExpressCharge™対応	
電圧	DC 11.40 V	15.20 VDC	15.20 VDC	DC 11.40 V	
重量 (最大)	0.25 kg (0.55 lb)	0.34 kg (0.75 lb)	0.34 kg (0.75 lb)	0.47 kg (1.04 lb)	
寸法:					
	高さ	95.90 mm (3.78 インチ)	95.90 mm (3.78 インチ)	95.90 mm (3.78 インチ)	82.00 mm (3.22 インチ)
	幅	181 mm (7.13 インチ)	233 mm (9.17 インチ)	233 mm (9.17 インチ)	332 mm (13.1 インチ)
	奥行き	7.05 mm (0.28 インチ)	7.05 mm (0.28 インチ)	7.05 mm (0.28 インチ)	7.70 mm (0.30 インチ)
温度範囲:					
	動作時	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)

表 16. バッテリーの仕様 (続き)


説明		値			
	ストレージ	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。
充電時間 (概算)	<p>4 時間 (PC の電源がオフの場合)</p> <p>① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ の <i>Me and My Dell</i> を参照してください</p> <p>② メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ で『私とマイデル』を参照してください。</p>	<p>4 時間 (PC の電源がオフの場合)</p> <p>① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ の <i>Me and My Dell</i> を参照してください</p> <p>② メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ で『私とマイデル』を参照してください。</p>	<p>4 時間 (PC の電源がオフの場合)</p> <p>① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ の <i>Me and My Dell</i> を参照してください</p> <p>② メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ で『私とマイデル』を参照してください。</p>	<p>4 時間 (PC の電源がオフの場合)</p> <p>① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ の <i>Me and My Dell</i> を参照してください</p> <p>② メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、www.dell.com/ja-jp/ で『私とマイデル』を参照してください。</p>	

表 16. バッテリーの仕様 (続き)

説明	値			
寿命 (概算)	300 サイクル (充電 / 放電)	300 サイクル (充電 / 放電)	1000 サイクル (充電 / 放電)	300 サイクル (充電 / 放電)
コイン型電池	CR2032	CR2032	CR2032	CR2032
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。

寸法と重量

表 17. 寸法と重量

説明	値
高さ :	
前面	22.48 mm
背面	24.92 mm
幅	359.10 mm
奥行き	236.25 mm
重量	1.89 kg (4.16 lb)
	 メモ: システムの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

ポートとコネクタ

表 18. 外部ポートとコネクタ

説明	値
外部 :	
ネットワーク	RJ-45 ポート (1)
USB	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x USB 3.2 Gen 1 (Type-A) ポート ● 1 x USB 3.2 Gen 1 (Type-A) ポート (PowerShare 対応) ● 1 x USB 3.2 Gen 2 (Type-C) ポート (DisplayPort 1.4 / Thunderbolt 対応)
オーディオ	ユニバーサル オーディオ ジャック x 1
ビデオ	HDMI 2.0b ポート (1)
電源アダプターポート	1 x 7.4 mm バレルタイプ電源コネクタ ポート / 1 x Type-C 電源ポート

表 18. 外部ポートとコネクタ（続き）

説明	値
セキュリティ	くさび形ロックスロット (1)
カードスロット	Micro SD カードスロット

表 19. 内部ポートとコネクタ

説明	値
内部：	
1x ソリッドステートドライブ用 M.2 Key-M (2280 または 2230) 1x WLAN 用 M.2 2230 Key-E	<ul style="list-style-type: none"> ソリッドステートドライブ(128 GB/256 GB/512 GB)用 M.2 2230 スロット x1 SSD (256 GB/512 Gb/1 TB) 用 M.2 2280 スロット x1 自動暗号化ソリッドステートドライブ(256 GB/512 GB)用 M.2 2280 スロット x1 <p>メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、サポート技術情報記事 SLN301626 を参照してください。</p>

タッチパッド

表 20. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1221 x 661
寸法	<ul style="list-style-type: none"> 幅：101.7 mm (4.00 インチ) 高さ：55.2 mm (2.17 インチ)
マルチタッチ	<p>5 本指マルチタッチ対応</p> <p>メモ: Windows 10 のタッチパッドジェスチャーの詳細については、support.microsoft.com にある Microsoft ナレッジベースの記事 4027871 を参照してください。</p>

表 21. 対応ジェスチャー

対応ジェスチャー	Windows 10
カーソルの移動	対応
クリック/タップ	対応
クリックしてドラッグ	対応
2 本指でスクロール	対応
2 本指でピンチ/ズーム	対応
2 本指でタップ (右クリック)	対応
3 本指でタップ (Cortana の呼び出し)	対応
3 本指で上にスワイプ (開いているウィンドウをすべて表示)	対応
3 本指で下にスワイプ (デスクトップの表示)	対応
3 本指で左右にスワイプ (開いているウィンドウの切り替え)	対応
4 本指でタップ (アクションセンターの呼び出し)	対応

表 21. 対応ジェスチャー（続き）

対応ジェスチャー	Windows 10
4本指で左右にスワイプ（仮想デスクトップの切り替え）	対応

ディスプレイ

表 22. ディスプレイの仕様

説明		値			
タイプ		HD(ハイ デフィニション)	フルハイ デフィニション (FHD)	フルハイ デフィニション (FHD)	フルハイ デフィニション (FHD)
パネルテクノロジー		広い視野角 (WVA)	広い視野角 (WVA)	広い視野角 (WVA)	広い視野角 (WVA)
輝度 (標準)		220 nit	220 nit	220 nit	300 ニット
寸法 (アクティブ エリア):					
	高さ	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)
	幅	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)
	対角線	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)
Native Resolution		1366x768	1920 x 1080	1920 x 1080	1920 x 1080
メガピクセル		1049088	2073600	2073600	2073600
1インチあたりの画素数 (PPI)		100	141	141	141
色域 (CG)		NTSC 45%	NTSC 45%	NTSC 45%	NTSC 72%
コントラスト比 (最小)		500 : 1	700:1	700:1	700:1
レスポンス タイム (最大)		25 ミリ秒	25 ミリ秒	35 ミリ秒	35 ミリ秒
リフレッシュ レート		60 Hz	60 Hz	60 Hz	60 Hz
水平可視角度		40/40 +/-°C	80/80 +/-度	80/80 +/-度	80/80 +/-度
垂直可視角度		10 (上) /30 (下) +/-°C	80 (上) /80 (下) +/-°C	80 (上) /80 (下) +/-°C	80 (上) /80 (下) +/-°C
ピクセルピッチ		0.252X0.252 mm	0.179X0.179 mm	0.179X0.179 mm	0.179X0.179 mm
消費電力 (最大)		4.20 W	4.2 W	4.2 W	4.6 W
非光沢 vs 光沢仕上げ		非光沢	非光沢	非光沢	非光沢
タッチ オプション		無	無	有	無

キーボード

表 23. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none">● 102 (米国およびカナダ)● 103 (英国)● 106 (日本)
サイズ	フルサイズ <ul style="list-style-type: none">● X = 18.6 mm (0.73 インチ) キー ピッチ● Y = 19.05 mm (0.75 インチ) キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション (バックライトおよびバックライトなし)
レイアウト	QWERTY

電源ボタンの指紋認証リーダー

表 24. 指紋認証リーダーの仕様

説明	値	
センサー テクノロジー	容量式	容量式
センサーの解像度	363 dpi	500 dpi
センサーのピクセルサイズ	76 x 100	108 x 88

指紋認証リーダー

表 25. 指紋認証リーダーの仕様

説明	値
センサー テクノロジー	容量式
センサーの解像度	508 dpi
センサーのピクセルサイズ	256 x 360

センサーおよびコントロールの仕様

表 26. センサーおよびコントロールの仕様

仕様
1. マザーボード上の落下防止センサー
2. ホール効果センサー(蓋が閉じているときに検知)

セキュリティ オプション—接触型スマートカードリーダー

表 27. 接触型スマートカードリーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 スマートカードリーダー
ISO 7816 -3 クラス A カードのサポート	5V 電源スマートカードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス B カードのサポート	3V 電源スマートカードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス C カードのサポート	1.8V 電源スマートカードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816-1 準拠	リーダーの仕様	有
ISO 7816 -2 準拠	スマートカードデバイスの物理特性（サイズ、接続ポイントの場所など）の仕様	有
T=0 のサポート	カードは文字レベル転送をサポートしません	有
T=1 のサポート	カードはブロックレベル転送をサポートします	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo（電子決済規格用）スマートカード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマートカード規格に基づいて正式に認定	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェアリーダーをパーソナルコンピューター環境に統合するためのパーソナルコンピューター/スマートカードの仕様	有
CCID ドライバーの準拠	OS レベルドライバーの集積回路カードインターフェイスデバイスの一般的なドライバーサポート。	有
Windows 認定	WHCK によって認定されたデバイス	有
GSA による FIPS 201 (PIV/HSPD-12) 準拠	FIPS 201/PIV/HSPD-12 要件に準拠したデバイス	有

セキュリティ オプション—非接触型スマートカードリーダー

表 28. 非接触型スマートカードリーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマートカードリーダー（NFC 対応）
Felica カードのサポート	Felica 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type A カードのサポート	ISO 14443 Type A 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type B カードのサポート	ISO 14443 Type B 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有

表 28. 非接触型スマートカードリーダー（続き）

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマートカードリーダー（NFC 対応）
ISO/IEC 21481	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO/IEC 18092	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 15693 カードのサポート	ISO15693 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
NFC タグのサポート	NFC 準拠のタグ情報の読み取りおよび処理をサポートします	有
NFC リーダー モード	NFC フォーラム定義リーダー モードのサポート	有
NFC ライター モード	NFC フォーラム定義ライター モードのサポート	有
NFC ピアツーピア モード	NFC フォーラム定義ピアツーピア モードのサポート	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo スマートカード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマートカード規格に基づいて正式に認定	有
NFC Proximity OS インターフェイス	OS が使用可能な NFP (Near Field Proximity) デバイスを列挙します	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェアリーダーをパーソナルコンピュータ環境に統合するためのパーソナルコンピュータ/スマートカードの仕様	有
CCID ドライバーの準拠	OS レベルドライバーの集積回路カードインターフェイス デバイスの一般的なドライバー サポート	有
Windows 認定	Microsoft WHCK によって認定されたデバイス	有
Dell ControlVault のサポート	デバイスは使用状況と処理のために Dell ControlVault に接続します	有


 **メモ:** 125 Khz の近接型カードはサポートされません。

表 29. サポートされているカード

製造元	カード	対応
HID	jCOP readertest3 A カード (14443a)	有
	1430 1L	
	DESFire D8H	
	iClass (レガシー)	
	iClass SEOS	
NXP/Mifare	Mifare DESFire 8K White PVC カード	有
	Mifare Classic 1K White PVC カード	

表 29. サポートされているカード (続き)

製造元	カード	対応
	NXP Mifare Classic S50 ISO カード	
G&D	idOnDemand - SCE3.2 144K	有
	SCE6.0 FIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 FIPS 144K Dual + 1K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 144K Dual + 1 K Mifare	
	SCE7.0 FIPS 144K	
Oberthur	idOnDemand - OCS5.2 80K	有
	ID-One Cosmo 64 RSA D V5.4 T=0 カード	

セキュリティ

表 30. セキュリティの仕様

機能	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵
指紋認証リーダー	オプション
くさび形ロックスロット	Standard (標準)

セキュリティ ソフトウェア

表 31. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア <ul style="list-style-type: none"> ● Dell Client Command Suite ● Dell BIOS 検証 ● オプションの Dell Endpoint Security および管理ソフトウェア ● VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード ● VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード + Secureworks スレット ディテクション & レスポンス ● Dell Encryption Enterprise ● Dell Encryption Personal ● Carbonite ● VMware Workspace ONE ● Absolute Endpoint Visibility and Control ● Netskope ● Dell Supply Chain Defense

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 32. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動 (最大) *	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	140 G†	160 G†
高度 (最大)	0 m ~ 3048 m(4.64 フィート ~ 5518.4 フィート)	0 m ~ 10668 m(4.64 フィート ~ 19234.4 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

キーボードのショートカット

メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。



















キーボードのキーの中には記号が2つ書かれているものがあります。そのキーを使用して代替文字を打つ、または二次機能を実行することができます。キーの下部に表示される記号は、そのキーが押されたときに入力される文字を指します。Shift キーとそのキーを押すと、キーの上部に表示されている記号が入力されます。たとえば、**2** を押すと **2** が入力され、**Shift+2** を押すと **@** が入力されます。

キーボードの一番上の行にある F1~F12 キーは、マルチメディアコントロールのためのファンクション キーです。タスクを起動するには、そのファンクション キーを押します。たとえば、F1 を押すと消音になります（次の表を参照）。

ただし、ファンクション キー F1~F12 が特定のソフトウェアアプリケーションに必要な場合は、**Fn+Esc** を押してマルチメディア機能を無効にできます。次に、**Fn** とそれぞれのファンクション キーを押すことで、マルチメディアコントロールの機能を起動できます。たとえば、**Fn+F1** を押すと消音になります。

メモ: また、BIOS セットアッププログラムで [ファンクション キーの動作] を変更することで、ファンクション キー (F1~F12) のプライマリ動作を定義できます。

表 33. キーボードのショートカットのリスト

ファンクション キー	再定義したキー (マルチメディアコントロール用)	動作を
		消音
		音量を下げる
		音量を上げる
		前のトラック / チャプターを再生
		再生 / 一時停止
		次のトラック / チャプターを再生
		外部ディスプレイに切り替え
		検索
		キーボードバックライトをオンにします (オプション)。 メモ: バックライトなしキーボードの F10 ファンクション キーにはバックライトのアイコンがなく、バックライト機能をサポートしていません。
		明るさを下げる
		明るさを上げる

Fn キーは、キーボード上の特定のキーと使用して、その他のセカンダリ機能を起動することもできます。

表 34. キーボードのショートカットのリスト

ファンクションキー	動作を
Fn + B	一時停止 / 休止
Fn + Insert	スリープ
Fn + S	スクロールロックを切り替える
Fn + H	電源およびバッテリーステータスライト / ハードドライブアクティビティライトを切り替える
Fn + R	システム要求
Fn + Ctrl	アプリケーションメニューを開く
Fn + Esc	Fn キー ロックをクリックする
Fn + ↑PgUp	ページアップ
Fn + ↓PgDn	ページダウン
Fn + ←Home	ホーム
Fn + End →	終了

ソフトウェア


本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

手順

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [ブートメニュー](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ブート シーケンス](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [Windows での BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。

キー	ナビゲーション
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例: 光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワンタイムブートメニューを立ち上げる

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断
 - ① **メモ:** [診断] を選択すると [ePSA 診断] 画面が表示されます。

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

- ① **メモ:** お使いのタブレットコンピューターノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 35. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • システム情報: BIOS バージョン、サービスタグ、資産タグ、購入者タグ、製造日、購入日、エクスプレス サービスコードが表示されます。 • Memory Information: Memory Installed、Memory Available、Memory Speed、Memory Channel Mode、Memory Technology、DIMM A size、DIMM B size が表示されます。 • プロセッサ情報: プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック速度、最小クロック速度、最大クロック速度、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 • デバイス情報: プライマリ HDD、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラー、ビデオ BIOS バージョン、ビデオメモリ、パネルタイプ、解像度、オーディオコントローラー、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。
Battery Information	バッテリーの正常性ステータスおよび AC アダプタが取り付けられているかどうかが表示されます。
Boot Sequence (起動順序)	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。
UEFI Boot Path Security	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> • Always, Except Internal HDD — デフォルト

表 35. 一般規定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● Always, except internal HDD&PXE ● Always (常に) ● なし
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報

表 36. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	<p>オンボード LAN コントローラーを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled = 内蔵 LAN がオフのため、オペレーティングシステムに認識されません。 ● Enabled = 内蔵 LAN が有効です。 ● Enabled w/PXE = 内蔵 LAN が有効です (PXE 起動) (デフォルトで選択)
SATA Operation	<p>統合ハードドライブコントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) = SATA コントローラーは非表示 ● AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み ● RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
Drives	<p>各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SATA-2 (デフォルトで有効) ● M.2 PCIe SSD 0 (デフォルトで有効)
Smart Reporting	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。[Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする)] オプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
USB 設定	<p>以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラーを有効または無効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) ● Enable External USB Port <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Thunderbolt アダプタ設定	<p>このセクションでは、Thunderbolt アダプタの設定を可能にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Thunderbolt - デフォルトで有効 ● Enable Thunderbolt Boot Support - 無効 ● No security - 無効 ● User configuration - デフォルトで有効 ● Secure connect - 無効 ● Display Port and USB Only - 無効
USB PowerShare	<p>このオプションでは、USB PowerShare 機能の動作を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB PowerShare - デフォルトで無効 <p>この機能は、ノートブックがスリープ状態にある場合でも、ノートブックの USB PowerShare ポート経由で内蔵のシステム バッテリー電源を使用して、ユーザーが電話やポータブル音楽プレーヤーなどの外部デバイスへの電源供給や充電をできるようにすることを目的としています。</p>
オーディオ	<p>内蔵オーディオコントローラーを有効または無効にすることができます。[Enable Audio (オーディオを有効にする)] オプションはデフォルトで選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Microphone (マイクを有効にする) ● Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) <p>両方のオプションがデフォルトで選択されています。</p>

表 36. システム設定 (続き)

オプション	説明
Keyboard Illumination	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100%の間で設定できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Dim (暗い) ● Bright - デフォルトで有効
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	<p>Keyboard Backlight Timeout (キーボードバックライトのタイムアウト) は、AC オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5 秒 ● 10 sec - デフォルトで有効 ● 15 秒 ● 30 秒 ● 1 分 ● 5 分 ● 15 分 ● なし
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリでのキーボードバックライトのタイムアウト)	<p>Keyboard Backlight Timeout (キーボードバックライトのタイムアウト) は、Battery (バッテリ) オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5 秒 ● 10 sec - デフォルトで有効 ● 15 秒 ● 30 秒 ● 1 分 ● 5 分 ● 15 分 ● なし
Unobtrusive Mode (控えめモード)	<ul style="list-style-type: none"> ● Enable Unobtrusive Mode - デフォルトで無効 <p>有効にした場合、Fn+Shift+B を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。</p> <p>Fn+Shift+B を押すと通常の動作に戻ります。</p>
Miscellaneous Devices	<p>次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Camera (カメラを有効にする) (デフォルトで有効) ● Enable Hard Drive Free Fall Protection - デフォルトで有効 ● Enable Secure Digital (SD) card - デフォルトで有効 ● Secure Digital (SD) Card Boot (SD カード起動) ● Secure Digital (SD) card Read-Only-Mode (SD カード読み取り専用モード)
MAC Address Pass- Through	<ul style="list-style-type: none"> ● System Unique MAC Address - デフォルトで無効 ● Integrated NIC 1 MAC Address ● Disabled (無効) <p>この機能により、外付 NIC の MAC アドレス (サポートされているドックまたはドングルのもの) がシステムから選択された MAC アドレスに置き換えられます。デフォルト オプションでは、パススルーの MAC アドレスが使用されます。</p>

ビデオ

オプション 説明

[LCD Brightness] 電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定できます。バッテリーおよび AC アダプター用に LCD の輝度を別々に設定します。スライダを使用して設定できます。

メモ: ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ

表 37. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-2 Password	このオプションでは、システムの内蔵ハード ディスク ドライブ (HDD) のパスワードの設定、変更、または削除を実行できます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート) 。 メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 <ul style="list-style-type: none"> TPM On (デフォルト) Clear (クリア) 有効なコマンドの PPI をスキップ 無効なコマンドの PPI をスキップ PPI Bypass for Clear Commands 有効な証明書 (デフォルト) 有効なキーストレージ (デフォルト) SHA-256 (デフォルト) いずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) Enabled (有効) (デフォルト)

表 37. セキュリティ (続き)

オプション	説明
Absolute	このフィールドでは、オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、Enabled、Disabled、Permanently Disabled のいずれかに設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Enabled - このオプションはデフォルトで選択されています。 • Disabled (無効) • Permanently Disabled
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Enabled (有効) (デフォルト) • Disabled (無効) • One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Master Password Lockout	マスターパスワードサポートを無効にできます。この設定を変更する前には、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティの軽減による保護を有効/無効にできます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 38. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • Secure Boot Enable オプションが選択されていません。
Secure Boot Mode	UEFI ドライバ署名の評価または強制が可能になるように安全起動の動作を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Deployed Mode (デフォルト) • Audit Mode
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • PK (デフォルト) • KEK • db • dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 • Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

表 39. インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	<p>このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [有効] • [ソフトウェア制御 (デフォルト)]
[エンクレーブメモリサイズ]	<p>このオプションで、[SGX エンクレーブリザーブメモリサイズ] を設定します。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [32 MB] • [64 MB] • [128 MB] (デフォルト)

パフォーマンス

表 40. パフォーマンス

オプション	説明
[Multi Core Support]	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] — デフォルト • [1] • [2] • [3]
[Intel SpeedStep]	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[C-States Control]	<p>プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [C States] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[Intel TurboBoost]	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[Hyper-Thread Control]	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled (無効)] • [Enabled] — デフォルト

電力管理

オプション

説明

[AC Behavior]	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。
Enable Intel Speed Shift Technology	<ul style="list-style-type: none">• Enable Intel Speed Shift Technology デフォルト設定：Enabled (有効)
[Auto On Time]	コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Every Day (毎日)• Weekdays (平日)• Select Days (選択した日) デフォルト設定：Disabled (無効)
[USB Wake Support]	USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。 メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。 <ul style="list-style-type: none">• Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)
[Wireless Radio Control]	この機能を有効にすると、有線ネットワークへのシステムの接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線 (WLAN および/または WWAN) を無効化します。 <ul style="list-style-type: none">• Control WLAN radio - 無効
[Wake on LAN]	LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• LAN Only (LAN のみ)• LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN) デフォルト設定：Disabled (無効)
[Block Sleep]	このオプションでは、OS の環境でスリープに入ることを防ぐことができます。有効な場合、システムはスリープ状態にはなりません。 Block Sleep - 無効
[Peak Shift]	このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。 <ul style="list-style-type: none">• Enable peak shift - 無効になっています• Set Battery Threshold (バッテリしきい値の設定) (15 ~ 100 %) - 15 % (デフォルトで有効)
[Advanced Battery Charge Configuration]	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。 Enable Advanced Battery Charge Mode - 無効になっています
[Primary Battery Charge Configuration]	バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• Adaptive (適応) — デフォルトで有効• Standard (標準) — 標準速度でバッテリーをフル充電します。• ExpressCharge (高速充電) — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。• Primarily AC use (主に AC を使用)• カスタム Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。

オプション	説明
	<p>メモ: バッテリによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、[Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定)] オプションを無効にする必要があります。</p>

POST 動作

オプション	説明
[アダプターの警告]	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、システム セットアップ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプター警告を有効にする) 。</p>
[有効な Numlock]	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする) 。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[Fn ロック オプション]	<p>ホットキーの組み合わせ Fn + Esc で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fn Lock (Fn ロック) — デフォルトで有効に設定されています。 • Lock Mode Enable/Secondary - デフォルトで有効 • ロックモード無効 / 標準
ファストブート	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最小 • Thorough (完全) — デフォルトで有効 • 自動
[BIOS POST 時間を延長]	<p>プレブート遅延を追加で作成することができます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 秒 : デフォルトで有効に設定されています。 • 5 秒 • 10 秒
Full Screen Log	<ul style="list-style-type: none"> • 全画面のロゴを有効にする - 有効になっていません
Warnings and Errors	<ul style="list-style-type: none"> • 警告およびエラー時のプロンプト - デフォルトで有効です • 警告時に続行 • 警告およびエラー時に続行します

管理機能

オプション	説明
[Intel AMT Capability]	<p>システムの起動時に、AMT 機能と MEBx ホットキー機能が有効になるようセットアップできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Enabled - デフォルト • Restrict MEBx Access
[USB Provision]	<p>有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Provision - デフォルトで無効
[MEBX Hotkey]	<p>システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable MEBx hotkey - デフォルトで有効

Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このフィールドでは、Intel Virtualization テクノロジーが提供する条件付きのハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology - デフォルトで有効に設定されています。
[VT for Direct I/O]	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。
[Trusted Execution]	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。 Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレス

オプションの説明

[Wireless Device Enable]	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none">• WLAN• Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
----------------------------	--

メンテナンス画面

オプション	説明
[Service Tag]	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
[Asset Tag]	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[BIOS Downgrade]	ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。[Allow BIOS downgrade (BIOS のダウングレードを許可)] オプションは、デフォルトで有効に設定されています。
[Data Wipe]	このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。[Wipe on Next boot (次回起動時に消去)] オプションは、デフォルトで有効に設定されていません。次に、対象となるデバイスのリストを示します。 <ul style="list-style-type: none">• 内蔵 SATA HDD/SSD• 内蔵 M.2 SATA SSD• 内蔵 M.2 PCIe SSD• Internal eMMC
[BIOS Recovery]	このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。 <ul style="list-style-type: none">• BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) — デフォルトで有効に設定されています。• Always perform integrity check (常に整合性チェックを実行) — デフォルトで無効に設定されています。
[First Power On Date]	このオプションは、取得日を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• Set Ownership Date - デフォルトで無効

システムログ


オプション	説明
[BIOS Events]	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
[Thermal Events]	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
[Power Events]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

前提条件


システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

このタスクについて


 **メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

手順

1. PC を再起動します。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。

 **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[[BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート \(英語 \)](#)]

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

このタスクについて

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

メモ: ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。「[Dell Diagnostics Deployment Package \(DDDP \) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法](#)」

手順

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、[USB ストレージ デバイス] を選択し、[Enter] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Enter] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の指示に従います。



図 1. DOS の BIOS アップデート画面

システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 41. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

注意: コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
- [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() \ (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([) (\) (]) (`)
- [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

手順

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
- [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
- [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
- [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トピック：

- [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

前提条件

- ① メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

このタスクについて

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. Dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国/地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。